

神戸を中心とした兵庫県郷土研究誌

第64巻 第4号

歴史と神戸

特集 南あわじ・門崎砲台遺跡の全容と歴史的意義



深江漁港と商船大学進徳丸（昭和42～47年）

画・田中邦彦画伯

64巻 4 号／歴史と神戸／もくじ

特集 南あわじ・門崎砲台遺跡の全容と歴史的意義

門崎砲台の調査と保存活用について	山崎 裕司 (1)
由良要塞門崎砲台の施設について	山本 達也 (9)
アメリカ海軍が捉えた鳴門要塞	唐澤 靖彦 (25)
戦後の門崎砲台について	定本 義広 (41)
神戸史学会奨励賞決まる	(24)
暑中見舞い申し上げます	(48)
「歴史と神戸」の原稿募集	(40)

新聞地域版を読む (51) 受贈図書紹介 (53) 新入会員紹介 (40)

表紙の作者・田中邦彦氏

巻頭言

神戸市立中央図書館一階ロビーに、神戸史学会を紹介するコーナーが九月末まで設けられている。神戸市文化スポーツ局が神戸の「本」の文化を守り、さらなる発展を目指すために二〇一四年から行っている文化振興プロジェクト。本来は出版社を紹介するものだが、さまざまな出版を行っているとの理由で、神戸史学会が選ばれた。

神戸史学会は、一九六二年に創立、兵庫県全域を研究対象にした唯一の雑誌で、県内最大の地域史研究団体。学術雑誌ながら、多数の市民の参加を得て、年六冊の『歴史と神戸』を発行、歴史資料ネットワークと地域史卒論報告会を主催している。展示コーナーではこれまでに発行した雑誌や、編集した『神戸の町名』『兵庫県小字名集』『荻原一青の城郭画と兵庫の名城』、また発行元になった渋谷武弘著『兵庫の怪異』・中島豊著『平清盛』を並べている。(大國)

兵庫の城 353選

姫路城をはじめ、中世の山城から幕末の砲台跡まで、1000を超す城から厳選して紹介。

本岡勇一・著 ●定価2,420円(税込)

萩原一青の城郭画と兵庫の名城

尼崎城をはじめ兵庫県の城郭図を読み解き、城郭画家・萩原一青の波乱の人生と事績をたどる。

大国正美 辻川 敦・編著

●定価2,200円(税込)

城下町姫路と播磨

村から町への変遷、城下町特有の景観や考古資料など、多角的に播磨・姫路の城下町を解明する。

播磨学研究所・編 ●定価1,980円(税込)

兵庫の庭園ものがたり

日本の名園と探る

兵庫の庭園を27のテーマに分けて魅力を語る。日本の名園との比較や、今後の課題も提言する。

西 桂・著 ●定価2,420円(税込)

ひょうご鉄学いまむかし

播磨のたたら製鉄

西播磨の山間部を中心に行われてきた「たたら製鉄」。兵庫の製鉄の歩みと歴史をひもとく。

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室・編／村上泰樹 土佐雅彦 坂江涉・監修

●定価1,320円(税込)

ひょうごの仏像探訪

県立歴史博物館で仏教彫刻を担当した著者が、記憶に残る仏像や多彩な仏像の魅力を紹介。

神戸佳文・著 ●定価2,200円(税込)

兵庫県の古代遺跡 1 2

全国有数の遺跡数を誇る兵庫県。特色ある古墳や出土品、近年発掘された遺跡を全2巻で。

櫃本誠一 岸本一宏 大手前大学史学研究所・編 ●定価各4,180円(税込)

自費出版のご相談は

078-362-7143(出版部)

jihishuppan-kpc@kobe-np.co.jp

神戸新聞総合出版センター

〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7
TEL078-362-7138(販売) FAX078-361-7552

▶<https://kobe-yomitai.jp/> 公式 X @kobe_np_syuppan

創刊・昭和37年8月15日
会費・年額三千円(1~12月)
隔月刊・歴史と神戸 第64巻第4号
令和7年8月1日発行
編集発行 神戸史学会
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町三丁目一ノ四
〇八四 田中印刷出版株式会社内
電話(〇七)八七一〇五五一
振替口座 〇二九〇二二四〇二八
代表兼編集人 大国正美
副代表 増田行雄
会計担当 有吉康徳
◆会費納入の銀行振込をご希望の方は、
メールでお問い合わせください。